

ONOSOKKI



# CF-4700 FFT コンパレータ アシスト機能



## アシスト機能とは：

ブロックコンパレートのブロック設定、判定基準の決定をアシストする機能です。

アシスト機能を実行すると、良品と不良品の2つの計測データを読み込み、その差分を求めて基準ブロックを自動で設定します。なお、設定されたブロックは、編集・保存することができます。

## 『アシスト方法について』

判定方法は、ブロックコンパレートのピークレベル固定のみです。

ブロックの決定方法：

ブロックの高さ：ピークの3 dB低い値及び高い値に設定します。

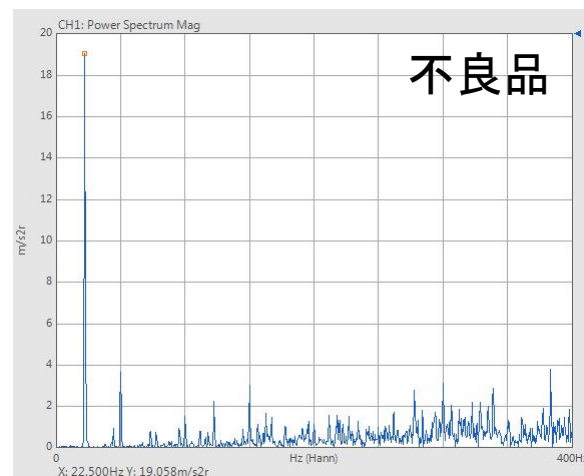
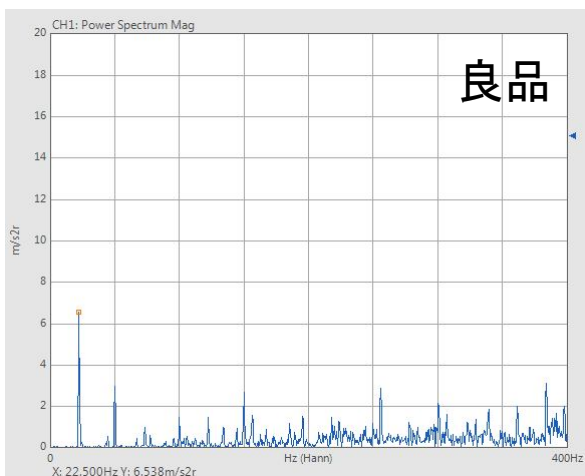
良品／不良品の差分が3 dB以下の場合は、間の値になります。

リニア表示の場合は、3 dBのリニア換算値を使用します。

3 dBのリニア換算は、1.414倍(もしくは0.707倍)です。

## 1. 良品不良品の計測データを保存

良品、不良品のデータを保存します。



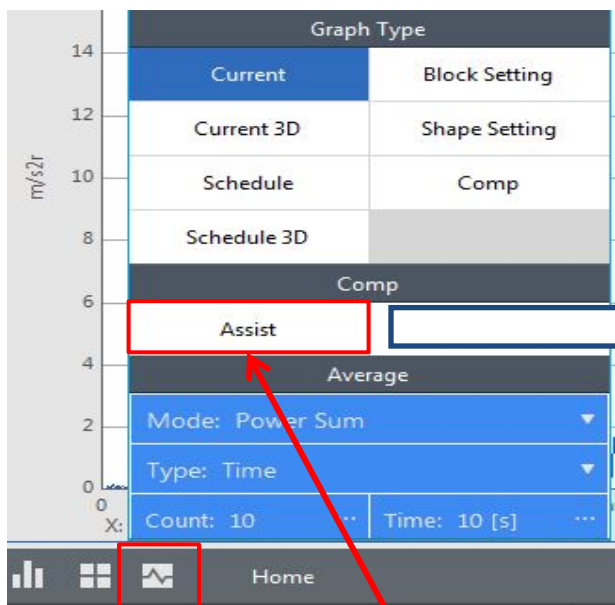
No.	Date/Time	Label	Kind	CH	DAT	BMP	TXT	TRC
001	2015/08/25 13:26:45	ok	Power Spectrum	CH1	Load	Show	Load	
002	2015/08/25 13:27:08	ng	Power Spectrum	CH1	Load	Show	Load	
003								
004								

良品、不良品のデータをそれぞれ保存します。

※アシスト機能は、2つのデータを扱います。  
2つ以上のデータは扱うことはできません。

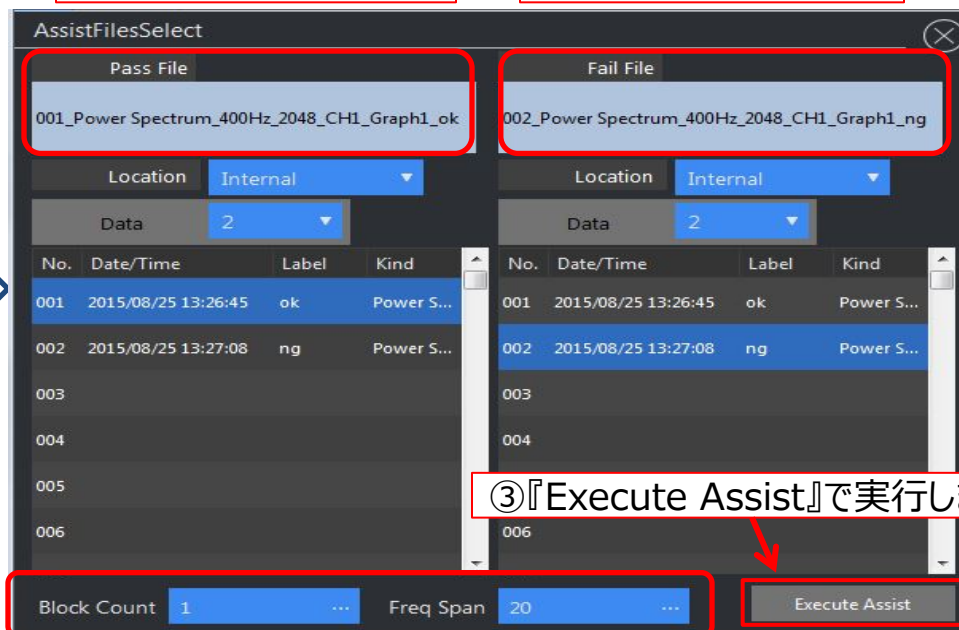
## 2. 良品、不良品のデータを登録

アシストデータの登録画面を立ち上げ、登録します。



①Compの『Assist』を押します。

②データを登録します。  
 Pass File 良品データ      Fail File 不良品データ



③『Execute Assist』で実行します。

③Block Count およびFreq Spanを設定します。

●Block Count:

判定基準の数を決めます。本手順書では1を選択しています。1つのブロックが自動で作成されます。

●Freq Span:

ブロックの周波数幅を決めます。本手順書では、20 Hzと設定しています。20 Hzの周波数幅のブロックが作成されます。

## 3. 判定基準を登録

アシスト機能で得られた判定基準を確認し、編集、登録します。

自動で作成された判定基準  
周波数幅 (Freq Span 20 Hz)

①表示切替ボタン  
VIEW: 判定方法を表示  
DIFF: 差分グラフを表示

③判定基準が決まれば  
『REGISTER』を押し登録します。

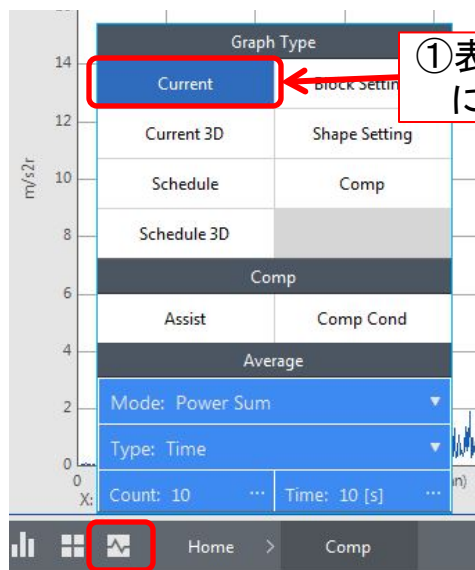
良品不良品の差分データを表示

②VIEW表示に切り替え、判定方法を確認します。  
本手順書では作成したブロックよりピークが高ければNG判定となります。  
(Limit: UPPER、Method: PK.LEVEL)

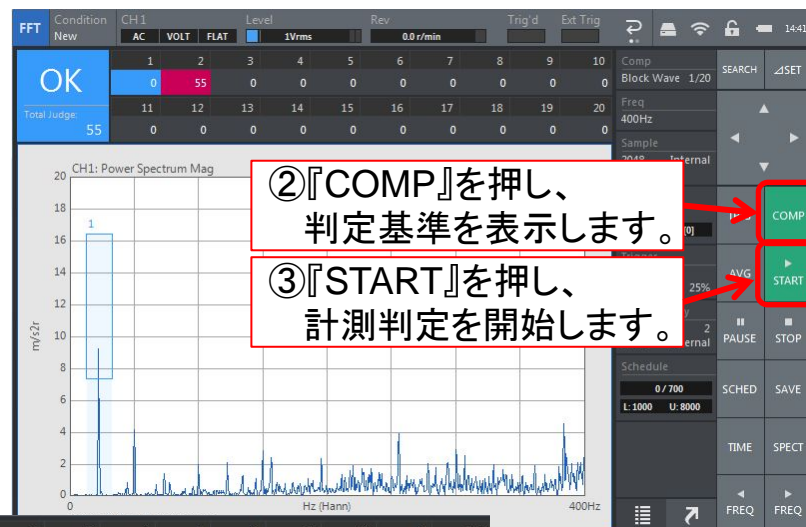
No	X Lower	X Upper	Y Lower	Y Upper	NG Num	Limit	Method	Area Up	Area Low
1	125	325	7.355527	16.4563	1	UPPER	PK.LEVEL	50	30

## 4. コンパレータを実行

### ①カレント表示に切り替えて『COMP』を押し判定



①表示を『Current』に切り替えます。



②『COMP』を押し、判定基準を表示します。

③『START』を押し、計測判定を開始します。

